

ねっとわあく

248
JANUARY



2017年

謹賀新年

CONTENTS

- 新年のご挨拶 2
- 懇談会
 - ・ 県議会各党派との懇談会 3
 - ・ 長野県県民文化部長及び関係部局との懇談 3
- 機関会議報告
 - ・ 第5回理事会 4
- 県生協連活動報告
 - ・ 理事会県外視察 4
- 部会等活動報告
 - ・ 医療部会県外視察研修 5
 - ・ 介護福祉交流会 5
 - ・ 介護福祉講演会 6
- 県消団連等活動報告
 - ・ 第7回幹事会 6
 - ・ 第46回長野県消費者大会 6
 - ・ 市町村消費者行政窓口と消費者団体と消費生活サポーターとの懇談会 7
- 協同組合間等活動報告
 - ・ 長野県協同組合連絡会第5回幹事会 7
 - ・ 長野県協同組合フェスティバル2016第5回実行委員会 7
- 会員生協情報
 - ・ 高齢者生協「空き家管理サービス」 8
- お知らせ
 - ・ 2016年度下期研修会 8
- INFORMATION 8
- お知らせ
 - ・ 地方消費者フォーラム「もっとつながろう地域から」ご案内 9



新年あけましておめでとぅございませう
年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます

振り返りますと、昨年は4月に熊本を中心とした大地震が発生し甚大な被害をもたらしました。夏には東北・北海道を中心に広範囲で水害が発生し、10月には鳥取でも大規模地震が発生しました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

生協は、こうした災害に対し、物資供給や緊急募金など被災者支援に大きな役割を果たしました。しかし、熊本においては復旧・復興は道半ばという状況です。福島を中心にした東日本大震災の復興支援も含め、長野県生協連は全国の生協とともに、被災者に寄り添いながら継続した支援に取り組んでまいります。また行政などと連携しながら万一の災害発生に備え、その役割を果たせるよう十分な準備を進めてまいります。

行き過ぎた新自由主義は世界的規模で格差・貧富の拡大を生み、それを背景に、イギリスのEU離脱、アメリカでは自国第一主義を掲げるトランプ大統領の誕生などにつながりました。世界的なナショナリズムの台頭は、平和を脅かす火種にもなりかねません。平和であることは生協が存在する大前提でもあります。「憲法改正」の動きも含め、これからも平和を巡る問題には注視をしていかねばなりません。

少子高齢化を背景に、日本の社会構造は大きく変容してきています。以前の夫婦と子供といった家族構成は今や少数派になり、単身者や高齢夫婦の割合が飛躍的に増加しています。地域コミュニティが果たしてきた役割も従来のみでは機能できなくなってきました。終身雇用を前提とした日本型の雇用環境は崩れ去り格差の拡大や長時間労働問題が大きくなっています。社会保障制度や年金も含め将来不安は増すばかりです。

長野県生協連はこうした時代背景を踏まえ、地域のくらしを支える一員としての役割を自覚し、長野県内の各生協の活動を支援し、県生協連の3つの役割 ①会員活動の支援及び交流・連帯の促進 ②活動条件整備のための行政への働きかけ ③社会的認知を向上させる渉外・広報の強化、に沿ってその役割を果たしてまいります。これからも県内の生活協同組合並びに県生協連に変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

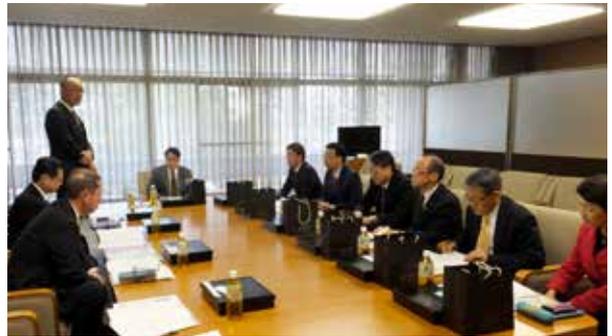
最後になりますが、この1年が皆様にとって実り多い年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2017年 元旦

長野県生活協同組合連合会
会長理事 上田 均

長野県議会各会派と県生協連理事会との懇談会を開催しました

12月8日（木）長野県庁議会棟理事者控室において、下沢順一郎県議会副議長を始め、県議会4会派代表の7名（自由民主党県議団 丸山大輔第三副副会長、信州・新風・みらい 小島康晴代表、埋橋茂人副政策審議会会長、新ながの・公明 村上淳会長、日本共産党県議団 小林伸陽団長、毛利栄子幹事長の議員皆さんと県生協連役職員4名による懇談会を開催しました。



冒頭、上田均会長理事が懇談会への参加に謝意を表し挨拶を行いました。懇談会では、牛澤高志専務理事が県生協連の概要や県行政や協同組合・消団連・労福協・フードバンク信州などの諸団体と連携した取り組みなどを含め、活動報告を行いました。続いて、県政への要望事項として、「1. 長野県消費生活基本計画（消費者教育推進計画）について」、「2. フードバンク信州の活動について」の紹介及び県としての窓口整備についてなどお話をしました。

意見交換では、消費者被害の問題や認知症高齢者の安全確保のための取り組み、フードドライブの取り組み（貧困支援）などの支援の重要なこと、災害対応としての県との災害物資協定などが話題になりました。災害時の対応や緊急支援物資については、機動的な対応が可能な仕組みづくりが必要で県とも調整を進めている事、また、消費者被害防止では、行政と連携した消費生活サポーターの活躍を期待する言葉など様々な質問や意見が出され、双方の交流を深めることができ充実した懇談の時間となりました。

長野県県民文化部長及び関係部局と懇談しました

2016年12月25日（木）、長野県庁内県民文化部長室において、長野県生協連と県民文化部長との懇談をおこない、その後、関係部局との懇談を行いました。最初に県民文化部との懇談では長野県から青木弘県民文化部長、くらし安全・消費生活課の戸田智万課長、池上昌樹企画幹、菊池康文課長補佐、小山周一係長の5名が参加され、県生協連からは上田均会長理事、神定孝典副会長、牛澤高志専務理事、丸橋建一介護福祉部会長、中谷隆秀事務局長が参加しました。消費者問題、地方消費者フォーラムへの協力、適格消費者団体設立への支援、消費者教育などについて懇談しました。県民文化部からは「自転車条例」の制定や保険加入の義務化など今後の検討課題についてお話がありました。続いて、関係部局の方々との懇談をさせていただきました。県からは、健康増進課の唐沢忍企画幹県課長補佐県健康づくり推進係長、危機管理防災課の島田俊彦課長補佐兼防災係長、介護支援課の社本雅人担当係長、食品・生活衛生課の和田純子課長補佐兼食品衛生係長、ものづくり振興課の曾根原栄課長補佐兼産業保安係長とくらし安全・消費生活課の池上昌樹企画幹、菊池康文課長補佐兼相談啓発係長、小山周一係長の8名が参加されました。内容は「LPガス料金の透明化について」、「食の安心安全会議の評価と進め方について」、「HACCP推進について」、「健康チャレンジについて」、「熊本地震の教訓について」、「防災備蓄食料について」、「市町村総合事業について」など詳しくそれぞれの内容について懇談することができました。



第5回理事会を開催しました

日時：12月13日（火） 13時00分～14時35分

場所：コープながの篠ノ井本部 会議室（長野市）

出席：13名（理事12名：監事1名）

内容：牛澤専務理事が開会を宣言し、上田会長の挨拶の後、桜木竜也監事の急逝の報告があり、全員で黙祷を捧げました。以下の案件について審議を行い、承認しました。

1. 臨時総会の開催及び議案について
2. 臨時総会に伴う役員推薦委員選任について
3. 臨時総会の運営について
4. 臨時総会の議案について
5. 第12次中期計画のまとめ（修正）と第13次中期計画構成と骨子案について
6. 2017年度県生協連会費額決定について
7. 2017年賀詞交歓会開催計画について
8. 県民文化部長との懇談会について
9. 食品衛生管理の国際標準化に関する検討会中間とりまとめに関する意見
10. 信州発ボランティア・地域活動フォーラムの後援の件（事後）



県生協連活動報告

理事会で和歌山県を視察しました

10月28日、29日に和歌山県の「秋津野ガルテン」を長野県生協連県外視察として、県生協連理事4名とJA中央会地域農政部中村様がオブザーバー参加され、5名での訪問となりました。「秋津野ガルテン」の視察は7月の協同組合シンポジウムの講演として株式会社「秋津野」の玉井社長をお呼びし、非常に興味深いお話をお聞きしたことから現地視察を行いたい、として企画されたものです。

秋津野ガルテン玉井社長より「地域経営のための合意形成と組織作り」と題して「この地域は明治22年の大水害で壊滅的な被害を受け、住民が力を併せて何十年もかけて復興してきた。昭和31年の近隣の村との合併でも、旧秋津村の村有財産を住民が設立した社団法人「上秋津愛郷会」が引き継ぎ、法人の収益は地域全体の公益の為だけに使う、として活動してきた。地元の小学校の新築移転に伴い廃校となる旧校舎の活用策として地域のグリーンツーリズムの拠点として再整備する方針をたて地域住民からの出資で株式会社「秋津野」を設立、自治体から旧校舎を買い取り、宿泊棟の整備、婦人グループが中心となって運営する農家レストラン「みかん畑」ジュース工場、スイーツ工房「バレンシア畑」などを併設してきた。現在の秋津野ガルテンは宿泊者が年間2300名を超え農家レストランも人気が高い。直売所と秋津野ガルテンの利用者は年間12万人。地域雇用も農産物直売所と合わせ70名の雇用を行っており、その経済波及効果は11億円を超えるとの試算となっている」などのお話でした。2日目はこの他農産物直売所、ジュース工場の視察とみかん狩りなどを体験させていただきました。往復14時間の移動を伴う研修でしたが非常に有益な研修となりました。



医療部会で県外生協を視察しました

11月21日(月)～22日(火)の2日間、県生協連医療部会県外視察が行われ、長野医療生協、東信医療生協、上伊那医療生協、事務局から10名が参加し、けいはん医療生協を視察しました。

1日目は、けいはん医療生協の本部にて、お話を伺いました。戸田伸夫理事長と村谷千恵子専務理事から、ご挨拶をいただき、けいはん医療生協の歴史や組織概要をお聞きしました。その後、小寺峰志常務理事よりけいはん医療生協の「地域まるごとケア」について詳しくお聞きしました。けいはん医療生協の25年の歴史やいのちの章典を大切に、「いざというときの安心」と“元気にくらしつづけたい”を大切に、「地域の中で普通に暮らすことができる」を目指し、“いのち・地域”をキーワードに活動を進めてきたことや、実践してきたことを詳しくお聞きすることができました。その後、出あい・ふれあい・支えあいの会「あいちゃん」の事務局の藤井みち子さんから、「あいちゃん」の活動についてお話を聞きました。ボランティア活動は1997年3月から19年続いている活動が基礎となり、組合員からの苦情や要求の多くが介護保険ではできない内容が多かったことから、誕生した活動であることなど教えてもらいました。いつも、何が求められているかを考え、利用会員のニーズを拾い上げ、コーディネーターの確保を行い、会員確保や学習会の開催、交流会の開催を行い、実践している事例など詳しく具体的にお聞きしました。

2日目は、みい事業所・みいの郷やさつき事業所・ホームさつきなどを視察見学させていただきました。



介護福祉交流会を開催しました

日時：11月27(土) 13時30分～16時30分

場所：生協総合ケアセンターいいじま地域交流ホール（飯島町）

出席：35名（5会員生協）

内容：交流会では「介護を変える、未来をつくる」のテーマで「未来をつくるKaigoカフェ」代表の高瀬比左子氏より、講演をいただきました。4年間毎月開催してこられたカフェの活動や一般企業・専門学校へのキャリアアップ勉強会や講演、小中学校への出張講座をされている高瀬さんのお話は、参加者にとって大きな共感とたくさんヒントが込められていました。今の介護業界に足りないものは何か？介護職の素晴らしい可能性と魅力についてなど具体的なお話がたくさんありました。カフェを開催し、思いを発信し、共有し、多くの人の考えに触れることで、人と人がつながっていくことなどをお聞きし、「介護の未来をつくるのは自分」と締めくくられました。講演後、6つのグループでワールドカフェ形式での交流会が行われ、参加者同士の自由な意見交換が行われました。



「未来をつくるKaigoカフェ」代表 高瀬比左子氏

介護福祉講演会を開催しました

日時：12月14日（水） 13時30分～16時30分

場所：松代ロイヤルホテル2階黒姫の間（長野市）

出席：30名（5会員生協）

内容：NPO法人やじろべー理事長の中澤純一氏を講師にお招きし「専門職として倫理を考える」とのテーマでご講演をいただきました。二つのグループ討議の後、映画「ハンナ・アーレント」の一部を視聴しました。ハンナは「思考することの大切さ、思考することで人間は強くなる」と、逆に「思考することを放棄すると、人間はモラル不能となり、平凡な普通の人間が残虐な行為に走る」との言葉は衝撃的でした。専門職として共通にもっておくべき価値基盤が、実践の根拠となる「援助を方向づける理念・思想・哲学」となる。専門職としての知識や技術をどう活用するかは、その価値基盤によって決まる。社会福祉専門職としての価値と倫理の繋がりについても詳しくお話され、参加者一人ひとりが、自分自身の仕事のあり方、思考すること、日々の仕事を検証することができているか？自分自身の専門職としての価値基盤を確立できているか？を自問自答する機会にもなりました。



中澤純一氏

県消団連等活動報告

第7回幹事会を開催しました

日時：11月14日（月） 10時30分～12時00分

場所：長野県婦人会館 会議室（長野市）

内容：議事進行は鵜飼会長が行った

1. 事務局が以下の事項を提案し、協議を行い承認されました

- (1) 第46回長野県消費者大会関連
- (2) 消費者行政窓口と消費者団体・消費生活サポーターとの懇談会のまとめ（一次）
- (3) レジ袋削減を進める県民の会による「レジ袋削減協働アピール」活動のまとめ案
- (4) 地方消費者フォーラム関連
- (5) 適格消費者団体を目指す長野消費者支援ネットワーク関連
- (6) 信州豊かな環境づくり県民会議表彰に関わる表彰候補者推薦の件



第46回長野県消費者大会

日時：11月25日（金） 13時00分～15時45分

場所：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

出席：100名

主催：長野県消費者団体連絡協議会

内容：●開会の言葉 岩崎恵子副会長

●開会のあいさつ 鵜飼照喜会長

●来賓あいさつ 長野県県民文化部 部長 青木弘様

●基調報告「長野県消団連の取り組み報告」 牛澤高志 事務局長

●特別講演「新しい食品表示を消費者はどう理解するか

～機能性表示食品を中心に～」 FOOCOM事務局長の森田満樹氏

●閉会の言葉 縣美智子副会長



特別講演ではFOOCOM事務局長の森田満樹氏から「新しい食品表示を消費者はどう理解するか～機能性表示食品を中心に～」がありました。新しい食品表示方法について（主な変更点）詳しいアレルギー表示、原材料と添加物の区別が一目でわかるようになります。（原材料／添加物）が、スラッシュ（/）で区切る。製造者や販売者など、表示責任者が製造所と異なる場合、「どこで製造したか」が分かりやすくなります。栄養成分表示が義務化され、食塩が“ナトリウム”表示から“食塩相当量”表示になり、理解しやすくなります。講演後、参加者から質問を受け付け、森田氏から詳しくご説明頂きました。



森田満樹氏

市町村消費者行政窓口と消費者団体と消費生活サポーターとの懇談会が県下9会場で開催されました

10月～11月に長野県内77市町村の消費者行政窓口と消費者団体及び消費生活サポーターとの懇談会を県内9会場で開催し、31市町村の行政担当者を含めて延べ188名が参加しました。消費者として個人・団体からの参加者111人の内、83人の消費生活サポーターの参加があり、懇談会は県消団連が主催し、県くらし安全・消費生活課の協力のもとで開催しました。



本年度で4回目になる懇談会ですが、6月に実施した市町村消費者行政関連調査のまとめ、県からの情報提供を受けて、各市町村の消費者行政の現状や消費者団体の活動状況の交流、また今年は特に、県が消費生活サポーターの研修との位置づけをし、参加呼びかけを支援して頂きました。市町村行政の担当者と消費生活サポーターとの顔合わせ及び意見交換の場ともなりました。また特殊詐欺被害の半減・撲滅を目指す「長野県消費生活基本計画」（2014年策定）を推進する事もこの懇談会の目的の一つです。懇談会の後半はグループ討議形式で行い活発な懇談会となりました。

協同組合間等活動報告

長野県協同組合連絡会第5回幹事会が開催されました

日時：11月1日（火） 14時00分～14時50分
場所：J A長野県ビル 地下1階会議室（長野市）
出席：6団体8名
内容：（1）大学との連携講座について
（2）協同組合職員交流集会について



長野県協同組合フェスティバル2016第5回実行委員会が開催されました

日時：11月1日（火） 15時00分～16時00分
場所：J A長野県ビル 地下1階会議室（長野市）
出席：20名（長野県協同組合連絡会構成団体の役職員及び構成団体の会員）
内容：牛澤高志事務局長が開会挨拶を行い、議事を進めました。
（1）長野県協同組合フェスティバル2016のまとめについて
（2）次年度の会場仮予約と日程の件
（3）参加実行委員の感想について
（4）アンケート集計結果の報告



長野県高齢者生活協同組合にて 空き家管理サービスはじめました

長野県高齢者生活協同組合では「人と地域のお役にたつて、より元気になろう」の合言葉のもとに地域のお役にたつ仕事おこしを行っています。その中で庭木の剪定・草刈り等生活支援事業の組合員さんより、「家の外だけでなく、室内の管理もお願いしたい。」との要望があり、今回10月より空き家管理サービスを立ち上げました。

月1回の点検で4千円が基本料金です。サービス内容は、室内の換気や通水・室内外の保全点検・敷地内の庭木や雑草の状況点検・ポスト内のチラシや配布物の整理等を行います。また、管理サービスのみではなく「空き家の今後をどうしていくか？」心配な方には、不動産管理の有資格者もいる為ご要望によってご相談にも対応できます。空き家について色々な問題が話題となっている昨今、是非気軽にご相談下さい。

長野県高齢者生活協同組合では退職世代が中心となって、草刈や剪定、掃除などの生活支援や施設管理事業、配食サービス等も行っていきます。ボランティアや空いた時間に働きたい方なども随時募集しています、お気軽にご相談下さい。

長野県高齢者生活協同組合 tel. 026-263-2386 (担当：長坂・太田)



お知らせ

2016年度 下期研修会のご案内

- ◆日時：2017年1月20日(金) 14:00~16:00
- ◆会場：ホテルメトロポリタン長野 2階 桜の間
- ◆講演：テーマ「未来への夢と感動へチャレンジ」 / 講師：(株)松本山雅会長 大月弘士氏
- ◆参加費：無料
- ◆参加申込：2017年1月13日(金)までに、県生協連事務局まで申し込みをお願いいたします。
- ◆連絡先：長野県生活協同組合連合会 TEL. 026-261-1380

Information

長野県生協連 2017年1月~2月 活動予定

月 日	会議・活動内容など
1月10日(火)~11日(水)	日本生協連全国方針検討集会
1月12日(木)	地方消費者フォーラム関東ブロック全体実行委員会
1月16日(月)	第8回県消団連幹事会、国際協力田米発送式
1月17日(火)	労福協合同研修会
1月19日(木)	地方消費者フォーラム関東ブロック県内実行委員会
1月20日(金)	第8回常任理事会、臨時総会、下期研修会、賀詞交歓会
1月24日(火)	中央地連運営委員会、労福協体育大会実行委員会、長野県協同組合連絡会第6回幹事会

月 日	会議・活動内容など
1月26日(木)~27日(金)	介護福祉部会視察研修
1月31日(火)	医療部会
2月1日(水)	災害時通信訓練
2月6日(月)	第9回常任理事会、労福協共同編集会議
2月9日(木)	地方消費者フォーラム~関東ブロック~ inながの
2月18日(土)	マイバッグデザインコンテスト表彰式
2月20日(金)	第9回県消団連幹事会
2月21日(火)	第6回理事会
2月28日(火)	全国消費者フォーラム

会報 ねっとわあくNo248

発行：長野県生活協同組合連合会 〒388-8555 長野県長野市篠ノ井御幣川668番地 生活協同組合コープながの本部内
TEL.026-261-1380 FAX.026-261-1381

ホームページ <http://nagano-seikyoren.org/index.php>

